

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	年齢や要介護度が高くなり、入浴などの介助が難しくなっており、湯船に入って頂かなく、シャワー浴が増えてきている。(経験の浅い職員や非力な職員)	職員の誰が入浴担当者でも、同じ支援が出来る。要介護度が高い入居者様でも、湯船にゆっくりつかって入浴できる。	一階浴室に入浴介助リフトを設置する事とした。また、自信を持って出来るまでには無理せず二人介助にて、安心安全に湯船につかって頂く事とする。	6ヶ月
2	4	毎日どんなテーマにするか勉強会をするか悩みながら行っているが、外部評価様からのご意見にあるように、「目標達成計画」進捗状況や状況を発表したりし、目標を忘れないようにしていきたい。	運営推進会議のテーマに「目標達成計画」進捗状況を入れる。クリアしないとイケない目標を忘れない、意識する。	運営推進会議のテーマに「目標達成計画」進捗状況を入れる。目標テーマは、毎月行われるミーティングにて話し合いを持ち、意識付けする。	12ヶ月
3	6	平成30年度の介護保険法の改正により、身体拘束防止に対する取り組み基準が厳しくなりました。現在、玄関のみ施錠は行っていますが、さらにスピーチロックなどしていないか、日々の支援のあり方を見直しながら、良い介護を目指したいと思います。	スピーチロックなども身体拘束にあたるという再認識をし、言葉遣いが職員間で注意し合える環境と関係を築く。	毎月行われるミーティングにて話し合いを持ち、意識付けする。気になる職員には、面談する事とする。	12ヶ月
4	37	入居者様の何気ない言葉や表情から、職員が思いをくみ取ることが出来ない。入居者様本位の支援が出来ていない時がある。	入居者様の表情や会話などから、思いを汲み取り、カンファレンス・ミーティング、申し送り、介護記録を利用して全スタッフが入居者様の思いを知ることが出来る。	入居者様のどのような所に注目しなければならないのか、また入居者様の思いを文章化する学習をする機会を設ける。ミーティングやカンファレンスの時に掘り下げて考える機会を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。